

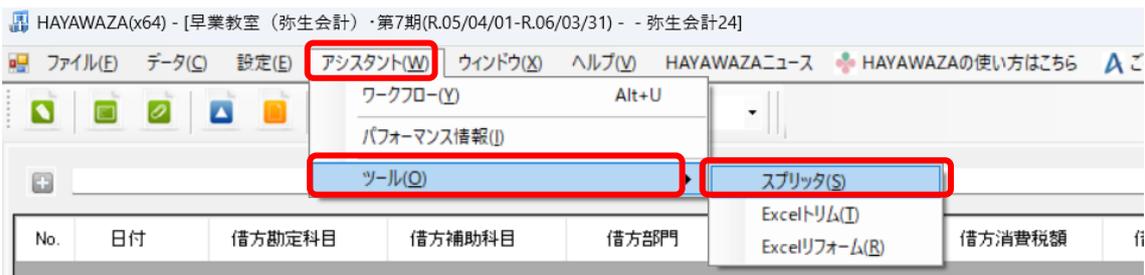
スプリッタの機能と使用方法について

株式会社 HAYAWAZA

スプリッタとは、Excel データの解析を行単位で行い分割し、複数のシートに変換してデータを作成する機能です。変換されたデータは「ファイル名+シート名（指定の場合）+変換日時」で作成されます。

本資料では、スプリッタの機能と使用方法についてご説明致します。

スプリッタの画面を表示するには、事業所を開き「アシスタント」→「ツール」→「スプリッタ」を選択します。



スプリッタの画面と各機能については以下の通りです。



【スプリッタの機能一覧】



1. 設定の登録

スプリッタの設定を保存できます。

2. 設定の削除

登録したスプリッタの設定を削除できます。

3. 設定のエクスポート

画面に表示されているスプリッタの設定をエクスポートできます。

※エクスポートしたスプリッタの設定をインポートするには、上記「スプリッタ」の画面にドロップします。

4. ヘッダオプション

- Excel パターンを選択してヘッダ行を指定
登録されている Excel パターンと同様のヘッダ行を指定できます。
チェックを入れるとプルダウンがアクティブになります。
プルダウンをクリックすると開いている事業所に登録されているパターンが表示されます。
- 行数を指定してヘッダを処理
チェックを入れると行数を指定できます。
- ヘッダを指定しない

5. 範囲オプション

スプリットする範囲を行で指定できます。

- すべての行を対象とする
- 高速モード（スプリット処理を CSV ファイルに出力します）
- 指定行の範囲を対象
- スプリットしない

6. シート名オプション

スプリットするシート名を指定できます。

- シート名を指定する
- シート名を指定しない

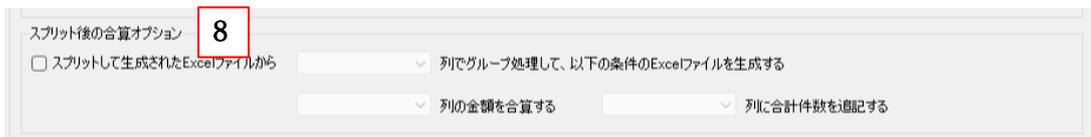


7. スプリットのオプション

- グループでスプリット
- 空白行でスプリットする
- 行単位でスプリット
- 文字単位でスプリット

指定した列にある文字ごとにシートを分けることができます。

- 1つの Excel ファイルに作成するシート数は〇シートまで
- 〇列&〇列をソートしてからスプリットする
金額もしくは数値を昇順で並び替えてからスプリットする機能です
- 行列を入れ替えてからスプリットする
- 『元のシート名+採番』で新しいシート名を生成
新しいファイルのシート名を元のシート名と番号で生成します。



8. スプリット後の合算オプション

スプリット後、金額を合算することができます。



9. スプリット後の列スプリット

スプリットした後のファイルを列で分けることができます。

【スプリットの使用例】

① 空白行でスプリットする

下記のように日付が、空白行で分かれているデータをスプリット設定します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2					振替伝票				
3									
4	月	日	金額	借方科目	摘要		貸方科目	金額	
5	7	10	577,696	普通預金	売掛入金	川北メディカル(株)	売掛金	728,560	
6	7	10	150,000	受取手形	売掛入金	川北メディカル(株)			
7	7	10	864	支払手数料	振込手数料	川北メディカル(株)			
8									
9									
10									
11	月	日	金額	借方科目	摘要		貸方科目	金額	
12	7	15	628,500	買掛金	買掛支払	(株)厚木産業	普通預金	628,068	
13	7	15			振込手数料	(株)厚木産業	支払手数料	432	
14	7	15	23,500	預り金	住民税	大阪市	現金	44,300	
15	7	15	9,500	預り金	住民税	奈良市			
16	7	15	11,300	預り金	住民税	京都市			
17	7	15	15,820	通信費	携帯電話利用料		現金	15,820	
18	7	15	21,600	修繕費	車オイル交換代		現金	21,600	
19	7	15	1,080	消耗品費	文具代		現金	1,080	
20									

1. ヘッダオプション

「行数を指定してヘッダを処理」にチェックを入れ、「ファイルの先頭から3行目までヘッダ」と設定します。

2. 範囲オプション

「すべての行を対象とする」にチェックを入れます。

3. スプリットのオプション

「空白行でスプリットする」にチェックを入れ、「1列目から8列目までがデータがない空白行で連続1行以上ある場合にスプリットする」と設定します。

設定の登録をします。



Excel ファイルをドロップします。

生成されたファイルを開くと、空白行で日付別に分かれたシートのファイルができています。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2					振替伝票			
3								
4	月	日	金額	借方科目	摘要		貸方科目	金額
5		7	10	577,696	普通預金	売掛入金	川北メディカル(株) 売掛金	728,560
6		7	10	150,000	受取手形	売掛入金	川北メディカル(株)	
7		7	10	864	支払手数料	振込手数料	川北メディカル(株)	
8								
9								

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2					振替伝票			
3								
4	月	日	金額	借方科目	摘要		貸方科目	金額
5		7	15	628,500	買掛金	買掛支払	(株)厚木産業 普通預金	628,068
6		7	15			振込手数料	(株)厚木産業 支払手数料	432
7		7	15	23,500	預り金	住民税	大阪市	現金
8		7	15	9,500	預り金	住民税	奈良市	
9		7	15	11,300	預り金	住民税	京都市	

② 行列を入れ替えてからスプリット

チェックをつけるとデータの行列を入れ替えてスプリットを行います。

スプリットのオプション

グループ 空白行 行単位 文字単位

グループでスプリット

空白を前の値で埋める (除外:) 空白を前の値で埋める

1つのExcelファイルに作成するシート数は シートまで

行列を入れ替えてからスプリット 『元のシート名+採番』で新しいシート名を生成

例) 以下のデータをスプリットします。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
1															
2	日	材料費	外注費												
3	1	8,900													
4	2	1,613	1,705												
5	3	600	1,500												
6	3		4,700												
7	4	600	1,613												
8	4	5,000	600												
9	4	1,750													
10	5	600	600												
11	6	10,506	5,000												
12	7	8,095	1,750												
13	7		600												
14	9	600	4,568												
15	9	1,837	600												
16	10	2,000	5,000												

スプリットを行うと以下のように行列を入れ替えたデータが作成されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1	日		1	2	3	3	4	4	4	5	6	7	7	
2	材料費	8,900	1,613	600	0	600	5,000	1,750	600	10,506	8,095			6
3	外注費	0	1,705	1,500	4,700	1,613	600		600	5,000	1,750	600	4.5	
4		0	0	0	0	0	0	0						
5		0	0	0	0	0	0	0						
6		0	0	0	0	0	0	0						
7		0	0	0	0	0	0	0						
8		0	0	0	0	0	0	0						
9		0	0	0	0	0	0	0						
10		0	0	0	0	0	0	0						
11		0	0	0	0	0	0	0						

③ 列でスプリットする

下記のようなデータは、列ごとに月別のシートに分けるスプリットの設定をします。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2	図書費	2000	2000	2000	8000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000
3	車両費	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000
4	消耗品費	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000
5	旅費交通費	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000
6	交際費	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000
7	通信費	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000

1. 範囲オプション

「スプリットしない」にチェックを入れます。

2. スプリット後の列スプリット

「スプリットしたファイル」にチェックを入れ、「先頭から1列ヘッダ2列目から1列単位で13列まで列スプリット」と設定します。

スプリット (画面にファイルをドロップすると処理が始まります)

スプリットの管理

[未選択] + 設定の登録 - 設定の削除 設定のエクスポート

ヘッダオプション / 範囲オプション / シート名オプション

すべての行を対象とする 高速モード(スプリット処理をCSVファイルに出力します)

指定行の範囲を対象 0 行目から 0 行目まで (「0」の場合は、「指定なし」となります)

スプリットしない

スプリットのオプション

グループ 空白行 行単位 文字単位

グループでスプリット 列 & 列の一値で生成

空白を前の値で埋める (除外:) 空白を前の値で埋める (除外:)

1つのExcelファイルに作成するシート数は シートまで 列 & 列をソートしてからスプリットする

行列を入れ替えてからスプリット 『元のシート名 + 採番』で新しいシート名を生成

スプリット後の合算オプション

スプリットして生成されたExcelファイルから 列でグループ処理して、以下の条件のExcelファイルを生成する

列の金額を合算する 列に合計件数を追記する

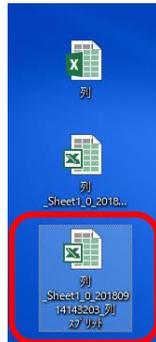
スプリット後の列スプリット

スプリットしたファイルの 先頭から 1 列ヘッダ 2 列目から 1 列単位で 13 列まで列スプリット 0 から 0

置換文字を指定する 1 行目に を含む列は除く シート名にセルの文字を追記: 0 行

リセット(R) ファイルを選択してスプリット 開じる(C)

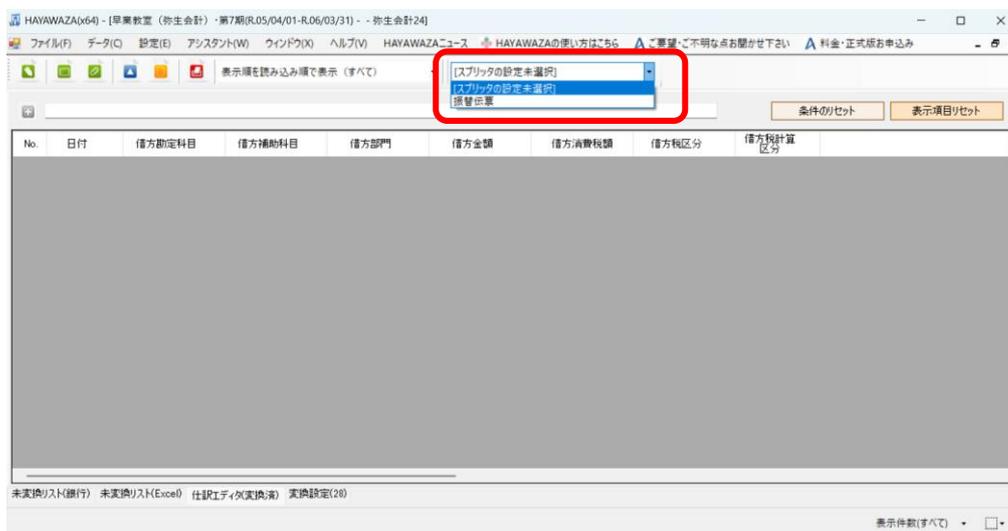
保存先に、2つのスプリットされたファイルが生成されるので、末尾に「列スプリット」と書かれたファイルを開きます。



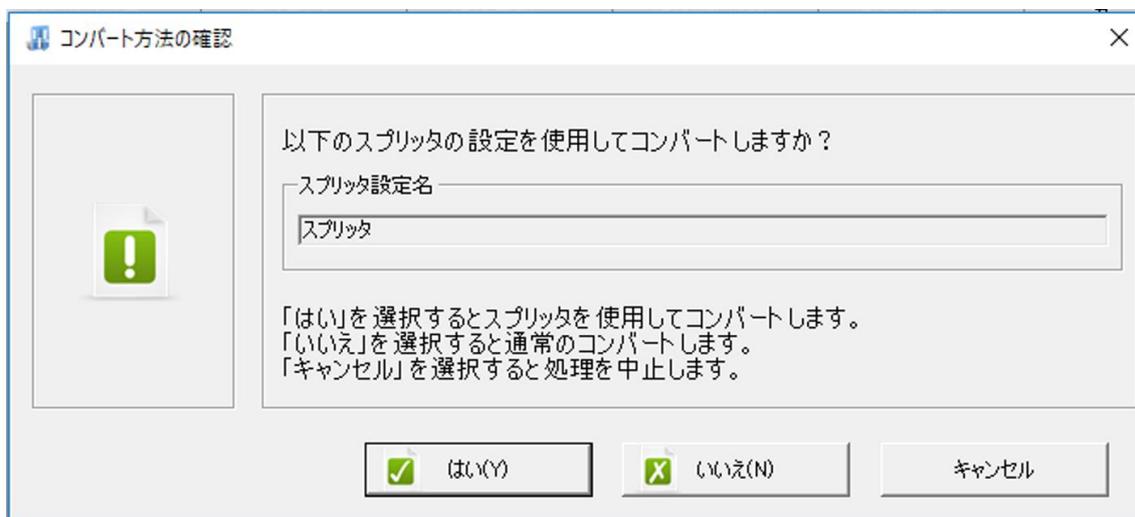
月別に分かれたシートが作成されます。

	A	B	C	D	E	F
1		1月				
2	☑書費	2000				
3	車両費	3000				
4	消耗品費	3000				
5	旅費交通費	3000				
6	交際費	3000				
7	通信費	3000				
8						

④ パターンとスプリッタの設定が完了した後、コンバートする画面上部の「スプリッタの設定未選択」のプルダウンから使用するスプリッタの名称を選択します。



コンバートするデータファイルをドロップすると以下の画面が表示されます。



「はい」を選択し、通常通りコンバートしてください。

【スプリッタに関するマニュアル】

スプリッタ機能に関して、詳細は以下にも掲載しています。

HAYAWAZAplus PDF マニュアル「[HAYAWAZA ユーザーマニュアル](#)」

HAYAWAZA Youtube 動画「[【Excel 加工縦スプリット】従業員ごとに給与の仕訳を起こすために](#)」

以上